

事務事業評価表 平成22年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 都市型農業の推進
 基本事業 生産性の高い農業経営の確立

事業名 **農業経営基盤強化促進対策事業**

[0036]

部名	経済部	事業開始年度	平成6年度	実施計画事業認定	非対象
課名	農業振興課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 江別市内の農業者
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 農業経営基盤強化法に基づき、経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営体を育成する。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 農業経営基盤強化法に基づく事業として、基本構想の策定や認定農業者の認定及び認定農業者への誘導。

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	農業者数(1月1日)	人	1,467	1,351	1,320	1,322
対象指標2						
活動指標1	江別担い手支援センター会議回数	回	7	3	3	12
活動指標2	当該年度認定件数	件	56	131	23	40
成果指標1	認定農業者数	件	320	308	308	308
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	45	33	57	59
正職員人件費(B)		千円	4,187	2,507	2,489	2,498
総事業費(A) + (B)		千円	4,232	2,540	2,546	2,557

費用内訳	
21年度	旅費 22千円、需用費 35千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	法に基づく事業であり市がおこなうのは管理的な事務である。
--------	--	-------------	------------------------------

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由
・
根拠は？

農業経営基盤強化促進法に基づく事務です。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

経営感覚に優れた農業経営体を育成することは、つまるところ農業経営の健全化が目的であることから、生産所得の向上にもつながり上位基本事業への貢献度はあります。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由
・
根拠は？

対象者については、ほとんどの人が既に認定農業者となっています。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

管理的な事業なので成果向上についての余地はありません。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算 + 所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由
・
根拠は？

法に基づく一定の担い手対策なので、コストを削減することは難しいです。